第三十六回「平和のつどい」

茶の湯とおもてなしの精神

講師　平　美恵子（裏千家茶道教授）

コロナ禍、令和二年十二月一日、活動目標の一つである「国際的な視野において平和について考え行動する」を目的に平和のつどいを開催することができました。

川崎市が政令市として最初に核兵器廃絶平和都市宣言を行った翌年、昭和五十八年に平和部会が創設されました。翌五十九年に当時川婦連創立三十五周年の記念として会員らの寄付による「平和の像」（圓鍔元規作）を市に寄贈、中原平和公園で除幕式を行うなど平和な社会形成にむけて地道に活動を継続しています。

今回、平美恵子氏を講師に迎え、日本文化を代表する茶の湯を通しておもてなし「和敬清寂」（Harmony Respect Purity and Tranquility）について考え、元日本航空ＣＡ時代の接客を参考に笑顔体操やあいさつ（愛情持って明るく、いつでも、先に自分から、続けて）の接遇心得の事例をうかがい、意識的に口角を上げる大切さなどを学びました。当時、昭和四〇年代の定年は三十歳、結婚妊娠したら乗務はできないというきまりだったとのこと。社会のニーズとともに現在定年は六十五歳に。社会変遷に一役を担ってこられたのではないかと思います。

さらに、人間も人間以外のものも皆一つ、根本において無差別であるという東洋的世界観について「東洋と西洋」（倉澤行洋著）のお話があり、本来日本人のもつ自然との一体性について、登山家槙有恒のマナスル登頂を引用するなど奥深い講演でした。

終わりに「茶は養生の仙薬なり」と、今こそカテキンやテアニンの多い抹茶を身近に摂ってほしいと締めくくられました。

講師紹介

裏千家茶道教授・国際部ＵＩＡ運営幹事、国際伝統藝術研究会幹事。茶道教室青芳会主宰。白鵬女子高等学校英語茶道講師、宝塚大学大学院博士課程修了（芸術学）。山形県生まれ、天童市ふるさと大使。人間国宝高橋敬典定期茶会等茶事多数開催。元日本航空㈱客室乗務員チーフパーサー（二万時間乗務）

書誌「岡倉天心：その生涯・美術観・茶道観を貫く『共感』の思想」他、岡倉天心研究者。

平和女性部　岩本　孝子